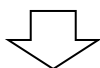


## コーディネート能力向上のための取組について（案）

## （１）一定程度身につけている能力を研修でさらに高める

- ・全体を底上げするのは難しいので、スペシャリストを育ててそこから広げていくのが現実的である。
- ・研修日数が長いと大変なので、焦点をしばった研修にすることも考えられる。
- ・コーディネートするには、いろいろな職種から意見を聞くことや医師との調整も必要だが、それが不足していると感じている。

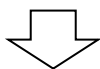


## &lt;スペシャリスト養成のための研修&gt;

- 東京都で実施している研修（在宅医療サポート介護支援専門員研修）の受講を促進する。

## （２）コーディネートの基礎を研修で学ぶ必要がある

- ・スキルの低い人をどうすればよいか課題である。
- ・コーディネートの基本から勉強することが必要と思われるケアマネジャーもいる。
- ・今後、全体の底上げを図らなければ、一部のケアマネジャーでは対応しきれなくなるので、広くスキルアップを図っていくことも必要である。
- ・職種ごとに実施するだけでなく、複数の職種が一堂に会することで、お互いの意見や現場を知ることに繋がっていくと思う。

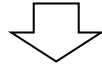


## &lt;全体をレベルアップするための研修&gt;

- 介護人材育成・研修センターでの研修を引き続き実施する。
- 医療職・介護職を問わず、調整力、対話力等を高めるための研修を区で実施する。

### (3) 研修を受講する動機付けの仕組みが必要である

- ・参加しないケアマネジャーの意欲をどう高めていくか。
- ・区のホームページに研修を受けた人のリストを載せることは可能ではないか。区民が選択する際の参考になる。事業所や個人も努力するようになりスキルアップにつながる。

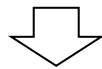


#### <研修受講事業所の掲載>

- 区ホームページの在宅療養のページに、区が実施する研修の実施報告の中に、研修を受講した事業所を掲載する。

### (4) 困った時に相談でき、支えていくシステムが必要である

- ・在宅療養相談窓口について知らないケアマネジャーが少なくない。
- ・現状は窓口相談員が4名しかいないため、相談を受けたすべての事例に十分対応できているとはいえない面もある。
- ・医療の分野に十分対応できていない部分がある。
- ・医療知識を身につけるだけではコーディネート能力は向上しない。OJTの積み重ねや連携のサポートを得ながら経験を積むことが重要である。



#### <高齢者相談センターの体制の充実>

- 高齢者相談センターの体制を見直し、事業者への支援を強化する。
- 高齢者相談センター職員を対象として、東京都で実施している研修（在宅療養支援員養成事業）の受講を促進する。
- 在宅療養相談窓口の周知を充実する。
  - ・区報の在宅療養に関する特集記事と併せて窓口について記載
  - ・区ホームページの在宅療養に関するページを充実させ、窓口について掲載